

発行日 令和3年1月
発行 ボランティア委員会広報係



国立病院機構新潟病院
連絡先は末尾

2020年 苦難を乗り越えて

新潟病院でボランティアとして協力いただいている皆様、いかがお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、2020年は院内における多くのボランティア活動ができない状態となってしまいました。

今まで開催されていた「院内コンサート」や「イベント」、「オープンホスピタル」や「ボランティア感謝の集い」など実施できない残念な状況が続いております。

ボランティアの皆様との交流や支援が、いかに患者さんの入院生活に潤いや希望、生きがいをもたらしてくださっていたかを改めて考えさせられた年でもありました。

ここで、現在患者さんが院内感染防止対策を取りながらどのように生活されているのか、またこの間実施することができたボランティア活動の例についてご報告し、今後のボランティア活動の新しい挑戦につなげていきたいと考えています。

生け花サークルの ボランティアの皆さんへ

コロナ禍で今はサークルができませんが、落ち着いたらまた皆さんとできたらいいです。
また皆さんと会える日を心待ちにしています。

生け花サークル A患者さんより



現在の患者さんの活動支援、 感染防止対策は？

- 3密とならない環境調整
(活動スペースと参加者人数の制限、患者同士の距離、換気など)
- マスクの着用
- 活動前後の患者・支援者の手洗いの徹底
- 患者同士の物の共有を避ける、共有するものは消毒を徹底

以上のように感染防止対策を取りながら、院内における日々のサークル活動や療育活動、季節の行事などを実施しています。

しかし、院外へ出る「外出活動」は全面中止となっています。今後は、どのような条件であれば実施できるのか、課題としています。



※筋ジストロフィー・ALS等病棟で、職員と患者さんとでクリスマス企画VTRを作成し、院内でテレビ放映を実施しました



絵手紙サークルで、久しぶりに ボランティアさんと対面活動を実現!!

院内で予約・制限付きの面会が可能となった11月、実施の方向で計画・調整を行ってきました。当院における『院内感染防止対策チーム』の指示とアドバイスの下、ボランティアさんが柏崎市在住であることの確認、2週間の接触・行動自粛と体調報告をお願いし、実現しました。

サークル参加の患者さんからは「久しぶりにお会いして交流することができて、楽しかった」と喜びの声が聞かれました。



新型コロナウイルスの予防のため、ボランティアさんが当院に来られることが禁止されていましたが、8ヶ月ぶりの11月にボランティアさんに来て頂き絵手紙の会を開催することができました。

ボランティアさんの「お久しぶりでしたね」の言葉に再会できたことを嬉しく思いました。

絵手紙を描き、ボランティアさんにアドバイスを受けながら絵手紙を完成させました。楽しいひと時でした。

現在は又、新型コロナウイルスに罹る人が増え、ボランティアさんに来て頂く事ができなくなりましたが、またいつか来て頂ける日を楽しみに待っています。

筋ジストロフィー・ALS等病棟 B患者さんより

※患者さんの写真掲載にあたり、本人もしくは
家族の了解を得ています



家族との面会は？

- 病室内が密にならないよう、家族同士の接触を避けるよう、完全予約制をとる
- インフォメーションで、2週間の行動・体調チェック、体温測定を行う
- 面会時間は30分とし、家族2名までとする
- マスク着用・手の消毒

現在は柏崎市内でも感染が拡大したため、対面での面会は中止しています。
新しい面会方法として、iPadやタブレットを使用したオンライン面会を実施しています。



※左写真:オンライン面会をしている重症心身障害病棟の患者さん



※右写真:オンライン面会をしている重症心身障害病棟のご家族



伊藤すなほさん「ものまねコンサート」 テレビ放映で開催!!

年1回 伊藤すなほコンサートを楽しみにしていましたが、今年はコロナで生のステージを見ることができなくて、とても残念でした。

TVで見て嬉しかったです。

来年は生のステージを見せてくださるよう祈っています。

又新潟病院へ来ることを願っています。

筋ジストロフィー・ALS等病棟 C患者さんより



お三人様
お久しぶりです。
DVDを見ました。ありがとうございました。
今年はコロナの影響で来てもらえなかったけど、来年はまた新潟病院でもコンサートが出来ると祈っています。

重症心身障害病棟 D患者さんより

皆様からのお便りを募集中!!

ボランティアの皆さんとの交流が途絶えてしまっているコロナ禍、対面でお会いできないこんな時だからこそ、ぜひお便りやメールをお寄せください。

ボランティア通信に掲載させていただき、入院患者さんとボランティアの皆さんとの懸け橋となればと思っております。

お便り、お待ちしております！

メールアドレス・病院住所は下記をご参照ください。

医療職・福祉職をめざしている中高生の皆さんへ

今年はオープンホスピタルを開催することができず大変申し訳ありませんでした。中学・高校生の皆さんから多くの方が医療職や福祉職をめざしてくださることを願い、来年度は何らかの形で開催できるよう準備を進めています。

また、将来の医療現場を支えていく人材育成のため、当院では各職種の実習受け入れを感染対策を取りながら実施しています。

2021年をボランティア活動の新たな挑戦の年に!!

従来の対面で行われていたボランティア活動から、今後はICT機器を駆使した新しい形式でのボランティア活動の挑戦を探っていきたくと考えております。

当院で現在備えている機器は、リアルタイムでの「全館テレビ放映」の他、オンライン面会に対応できるiPadやタブレット機器、Wi-Fi環境などで、どこよりもいち早く整えております。

以前よりテレビ電話機能を使って英会話のボランティアさんとやり取りをしている、といった個別のケースもあります。

それらを、様々なサークル活動や療育活動、季節の行事、外出支援に生かしながら、患者家族の皆さん、地域の皆さんや学生さん、ボランティアの皆さんといつでも繋がっていけるよう、ボランティア活動の新たな挑戦の年にしていきます。

皆様からのアイデアや工夫、提案や事例などありましたら、ぜひ情報をお寄せください。お待ちしております。



ボランティアとして協力くださる団体・個人の方、大歓迎です。是非下記までご連絡下さいますようお願いいたします。できること、可能なことを一緒に考えていきましょう。

ボランティア募集



問い合わせ先 (担当 石井 瀧澤)

新潟病院ボランティア委員会

住所 〒945-8585 新潟県柏崎市赤坂町3-52

電話 0257-22-2126 (代)

FAX 0257-24-9812

E-mail takizawa.keigo.bp@mail.hosp.go.jp (医療連携相談室・瀧澤)

225-ryouikusidoujitu@mail.hosp.go.jp (療育指導室・石井)

